

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 15 日 (17:30 ~19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 永島・松田・岡田・川上・西野・櫻井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 (8・3) 人	1 (0・1) 人	2 (0・2) 人	14 人

前回の改善計画	
アセスメントシートを作成し、体験利用をされる方の状態確認に行く際に持参して行く事で情報収集をきちんとしていく。また、体験利用時の様子と記載事項とが異なる場合は、修正していく事で確実な情報が蓄積できるようにしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
体験利用前に状態確認を行ない、回覧で確認できるようにし、体験利用の際に活かせるようにできた。事前面談では、ケアマネと担当予定職員が関わる事で、情報収集と状態の伝達を行なえるようにできた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 (1・0)	12 (5・7)	1 (1・0)	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	12 (5・7)	2 (2・0)	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3 (2・1)	10 (4・6)	1 (1・0)	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 (0・1)	12 (6・6)	1 (1・0)	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始時にアセスメントシートを作成し、情報収集に努めている。新しく聞きとったこと等は記録に残し、会議等で共有できるようにしている。 笑顔と優しい声かけを行なう事で、不安を解消できるようにしている。 利用開始時は、ケアマネと担当予定職員で面談に行くようにし、各職員に情報を周知しやすくしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
体験利用時のアセスメントシートはあるが、追加記入したり変更カ所を修正していなかったり回覧していないためタイムリーな情報ではない。 利用開始までの期間が短い時は情報収集が不十分なことがある。 体験利用時の職員と本利用開始初日の職員が違う場合、体験利用時の援助方法や、事前情報との相違点が伝達できておらず戸惑う事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
体験利用時で得た情報をアセスメントシートに記入していく事で、事前情報を増やしていく。 直近の会議にてアセスメントシートを完成させ、より早い段階で沢山の情報を共有できるようにする。 新規の利用開始の方は、全職員が情報収集する事に努め、記録システムに残して行く事で、情報量を増やし共有化を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 15 日 (17 : 30 ~19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 永島・松田・岡田・川上・西野・櫻井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 (1・0) 人	6 (3・3) 人	2 (2・0) 人	3 (1・2) 人	12 人

前回の改善計画
現状の問題点(担当、副担当だけだと勤務状況により長く顔を合わせない場合がある。家族や主治医などへ連絡を取る場合、担当職員の不在が多く、担当以外が対応する事が多い)を改善する為、2組の担当をさらにペアにし、担当職員を2人から4人にする。これにより職員間の申し送りもしやすくなり、利用者の家族や主治医などへの連絡も担当職員が対応出来ると思われる。会議前にケース検討の利用者をリストアップしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果
担当を増やす事で急な状況変化にも対応ができるようになり、問題点については改善されてきているが、会議前にケース検討のリストアップについて徹底できていない事が多く、再度見直ししていく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5 (2・3)	8 (4・4)	1 (1・0)	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8 (3・5)	5 (3・2)	1 (1・0)	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5 (2・3)	8 (4・4)	1 (1・0)	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	10 (4・6)	3 (2・1)	1 (1・0)	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	担当者を増やしたことで話し合いをする機会が増え、問題点や情報の共有ができ対応がしやすくなってきている。利用者本人に意見や希望を聞く機会が増えてきた事で、意向に沿った援助や希望を実現する機会が増えた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者によっては、本人からの発言が乏しく、希望や目標がわかりにくい時がある。 利用者が出来る事まで過剰に介助している時がある。 担当者を増やしたが、勤務時間内は利用者の対応をしている事が多いので、ゆっくり話し合える時間が取れていない。 ケース検討のリストアップについては、会議までの日数が短い等の理由でスムーズなケース検討に繋がっていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	前月の会議議事録に次月の課題分析利用者と新規利用者を明記することでケース検討のリストアップを徹底する。課題分析で前回時より変更点については赤字で入力し分かりやすくする。最新の課題分析は回覧で職員全員が目を通す事で利用者の目標や現状を理解した上で、日々の関わりに繋げていけるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 15 日 (17 : 30～19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 永島、松田、岡田、西野、櫻井、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 (1・0) 人	7 (6・1) 人	3 (1・2) 人	1 (0・1) 人	12 人

前回の改善計画
作成した個人の記録シートについては、会議で発表を行なう事で全職員での情報の共有を図る。また記録シート作成についても担当職員を4人に増やし相談する事でより深い情報の把握に努める。16時以降の情報量が少ない事から、遅出が様子を記録する事で日々の支援に役立てていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
個人の記録は毎月1人決めて行ない、作成にあたって4名の職員が役割を持って取組んでいる。担当職員によっては役割分担に差が見られる。記録内容を全職員で共有している。16時以降の記録は遅出職員が意識して入力する事で全体的に増えており、日々の支援に繋げている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4 (3・1)	7 (2・5)	3 (2・1)	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1 (1・0)	12 (6・6)	1 (0・1)	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	12 (6・6)	2 (1・1)	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1 (1・0)	12 (5・7)	1 (1・0)	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2 (2・0)	11 (4・7)	1 (1・0)	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月1人の利用者を決めて、本人・家族から情報を収集して発表する事で以前の暮らしや意向を共有している。毎日のミーティングで意見交換を行ない、体調や気持ちの変化についての把握が出来るようになった。全体の記録が増え、体調不良時の受診の判断や家族連絡するタイミング等が早く対応出来るようになった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員によって、利用者の状況把握に数に差が出ている。それにより本人らしい生活の理解が出来ておらず、適切な支援が出来ていない事がある。又、利用者の情報把握が完全に出来ていない事や、利用者によっては記録が乏しい為に支援内容の理解や考察が出来ていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・新規利用者の情報は積極的に記録システムに入力していく。 ・アセスメントシートの見直しを行なう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 15 日 (17 : 30 ~19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 永島・岡田・西野・川上・櫻井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 (1・0) 人	5 (4・1) 人	2 (1・1) 人	4 (1・3) 人	12 人

前回の改善計画
<p>特定の利用者 (SOS ネットワーク登録者など) が住まわれている地域の民生委員さんの顔や連絡先等は知っておく方が良いと思われるので、今後民生委員さんとの関係作りに力を入れる (地域ケア会議などでの顔合わせ)。訪問先での援助内容以外の話の内容も記録として残していく事で、生活や人間関係の把握に努める。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>民生委員さんとの関係は、自宅に挨拶に行ったりして1歩ずつではあるが進展している。家族や民生委員との会話内容も記録に残しておく事で、少しずつ話のつながりも出来てきている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8 (5・3)	5 (1・4)	1 (1・0)	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1 (1・0)	7 (5・2)	5 (1・4)	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6 (4・2)	6 (2・4)	2 (1・1)	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5 (4・1)	6 (2・4)	3 (1・2)	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>色々な所で得た情報は記録システムに入力するようにしている事で、各利用者の生活の様子や、地域との関わりなども見えてきている。認知症がありながらも一人暮らしをしている利用者に関しては、民生委員と会う機会を持つことがあるので関係性は作れている。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>民生委員との関わりは、決まった職員が接触するのみで、全ての職員が同じように関わっているとはいえない。又、地域活動の種類や資源はどの様なものがあるのか?理解しきれていない。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<p>民生委員との関わりは少しずつでも進展している為、今度も記録も含め関わりを続けていく。地域住民と関わった内容を記録システムに入力する事を促す。入力された内容を元に、民生委員に連絡を取り関係性を築いていく。個々の利用者がどの様な資源を使っているのか?課題分析表やアセスメントシートなどに記載していく事にする。地域資源についての勉強会を実施する。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 15 日 (17 : 30 ~19 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 永島・岡田・西野・川上・櫻井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 (3・0)	4 (3・1) 人	1 (1・0) 人	4 (0・4) 人	12 人

前回の改善計画
午後、遅出帯の入力を充実していく。特に夕食前、就寝までの様子の記録を残していく。 夜勤帯の入力は帰る直前で日誌を印刷してもらい、ギリギリまで様子の記録を残していく。 宿泊者の記録については、遅出帯が入力を追加後印刷するようにする。夕食後の送迎の方に関しては、入力担当が印刷しておく。
前回の改善計画に対する取組み結果
宿泊する利用者については、16時から就寝までの記録を残す事と、家族へも報告する事で、情報量が増加し、家族と情報を共有する内容を増やす事ができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2 (2・0)	6 (4・2)	5 (1・4)	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3 (2・1)	10 (5・5)	1 (0・1)	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5 (4・1)	8 (2・6)	1 (1・0)	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3 (3・0)	10 (3・7)	1 (1・0)	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	記録は充実しており、宿泊者の夕方から就寝までの状況の記録、夜勤帯でのトイレに起きて来た時の様子など、些細な事も記録として残せている。それらは業務として定着しているが、それ以外にも日常の中での気付きや家族さんからのコメントなど、大小問わず記録を残すようにしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	しづりがすくない事業所である事から、地域資源を活用せず事業所内で解決してしまおうとする傾向が強く、必要以上に関わってしまったり、地域資源が上手く活用できていない部分がある。また、どのような地域資源があるのか、今現在その方がどんな地域資源を活用しているのか、という理解と把握が不十分なので、それらを活用するという選択肢を持っていなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	各利用者のアセスメント表の地域とのつながりの項目に、現在活用している地域資源を落とし込み、状態把握に努める。地域資源の把握のため、勉強会の実施。また、他職種のできる事できない事の線引きを学ぶ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (17 : 30～19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 永島、松田、川上、櫻井、井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	6 (5・1) 人	4 (1・3) 人	2 (1・1) 人	12 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・離れ利用をいちごサロンだけでなく、地域の学生の自主学習の場として開放する。関心を持った学生に対し福祉への仕事の情報を発信していく。 ・サービス担当者会議をケアマネだけでなく、常勤職員も参加していく。 ・地域活動の活動内容を全職員が把握する為、定期会議で報告する。 ・旧玄関を活用する事でいちごサロンの雰囲気を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>地域交流スペース利用は、現在乳児がいるママさんの集まりで使用されている。学生までは認知されていない様子。</p> <p>サービス担当者会議は常勤職員も参加出来ている時は出来ていない時がある。地域活動の内容は会議で報告出来ている。いちごサロンや囲碁将棋麻雀クラブで旧玄関は使用しているが、それ以上の活用方法はない。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1 (1・0)	3 (2・1)	2 (2・0)	7 (1・6)	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1 (1・0)	2 (2・0)	2 (1・1)	8 (2・6)	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2 (2・0)	5 (3・2)	1 (1・0)	6 (1・5)	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2 (2・0)	5 (2・3)	3 (2・1)	4 (1・3)	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>医療機関とは、利用時の様子を報告したり、独居などで受診の援助の必要な利用者には付添いを行う事で情報の共有化を図っている。地域活動は、キャラバンメイトや、自治体のゴミ拾いに参加しており、まずは常勤職員より順次参加を予定している。そのため非常勤職員の評価が低かった。神の園の広報誌への掲載のためか地域交流スペースの一般利用申し込みがあった。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>いちごサロンでは地域交流スペースで旧門を活用しているが、それ以上の事をしていないために雰囲気を作れていない。</p> <p>サービス機関との会議を行っても、当日の出勤職員人数の関係で主任以外の参加が難しい時が多い。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<p>地域交流スペースの使用は、看板を設置したり、病院・役場・地域のサロン等にチラシを設置して頂く。駐車スペースが少ないために、地域交流スペースの利用についてのマニュアル作成を考える。地域活動などは、職員全員が知ることが出来る様に、回覧版で回ってきた内容や広報誌を回覧ファイルに入れる。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (17 : 30～19 : 00)

7. 運営

メンバー 永島、松田、櫻井、井上、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 (2・0) 人	1 (1・0) 人	6 (3・3) 人	2 (0・2) 人	11

前回の改善計画	明確に地域向けに意見箱を設置する。 内部（利用者・家族）に対しては職員が聞ける姿勢で対応する。 地域活動は、役職者以外の職員も積極的に参加できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	意見箱について設置は出来ておらず、意見を反映出来ていない。利用者・家族に対しての意見を聞く姿勢はほぼ出来ている。地域活動については常勤職員が中心ではあるがゴミ拾い、キャラバンメイト等の活動に参加している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1 (1・0)	7 (5・2)	6 (1・5)	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 (1・0)	12 (6・6)	1 (0・1)	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 (1・0)	10 (5・5)	2 (0・2)	0	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2 (2・0)	6 (4・2)	2 (1・1)	4 (0・4)	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者、家族の考え方や意見に対してすぐに他職員と相談し、連絡帳やミーティング、業務日誌に反映する事で職員間の共有が出来ている。急な相談や見学に対しても迅速に対応する事が出来ている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 意見箱が玄関内にある事で運営に反映する事が出来ていない。地域と協働した取組みは、非常勤職員が参加する機会が少ない事から出来ていないと評価している。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のあり方、小規模多機能の知識の習得、運営推進委員会の取り組みについての勉強会を実施する。 ・いちごサロン以外の独自の取り組み（講演会や予防体操等）を新たに実施する。 ・僧坊地域の祭りの参加をする。 ・意見箱の方法は取らず、僧坊地域の回覧板を通じて意見が反映出来る様に検討する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (17 : 30～19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 永島、松田、櫻井、井上、川上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 (4・3) 人	3 (3・0) 人	2 (0・2) 人	12 人

前回の改善計画	施設内研修に関してはこれまで通り参加していく。また、施設外研修の情報も分りやすく発信していく。地域連絡会での情報も全職員で共有できるよう、回覧出来る様にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	施設内研修には参加する事ができたが、施設外研修の発信が少なく自己啓発支援制度の利用が少なかった。利用者の状態やサービスの変更などは随時回覧出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5 (3・2)	8 (4・4)	0	1 (0・1)	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1 (1・0)	5 (1・4)	5 (4・1)	3 (1・2)	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	6 (3・3)	7 (3・4)	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 (1・0)	12 (5・7)	1 (1・0)	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
リスクマネジメントやユマニチュードに関しては意識して取り組んでいる。事業所内で勉強会を開催し、資料の作成段階から担当者同時が相談し準備する事が出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
スキルアップ研修、自己研鑽など意識して取り組みが出来ていない。事業所、個々共に、外部研修の情報収集ができていなかった。地域連絡会の参加がほとんど出来ていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
施設外研修の案内を発信し掲示する様にする。又、来年度できる新施設との交流や他施設間の研修を再開し学習する機会を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 永島・松田・川上・井上・櫻井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 (7・2) 人	2 (0・2) 人	1 (0・1) 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・精神拘束についての具体例を挙げた勉強会を実施する。 ・各利用者の書類、ケース記録の整理は担当職員が実施する。 ・事務所に利用者の荷物は持ち込まず、堀コタツの部屋に集約し整理整頓する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>拘束についての勉強会を実施したことで職員の意識改善が図れている。大型の荷物棚を設置した事で個人の荷物を事務所に置かなくて良くなったが、長期宿泊者や一部の利用者の持ち物については居室にて管理せざるを得ない状況。ケース記録等の書類については任がしている。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7 (4・3)	7 (3・4)	0	0	14
②	虐待は行われていない	13 (7・6)	1 (0・1)	0	0	14
③	プライバシーが守られている	5 (1・4)	9 (6・3)	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6 (2・4)	4 (3・1)	1 (1・0)	1・0	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5 (1・4)	8 (5・3)	1 (1・0)	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>精神拘束の勉強会でのグループワークを通じて、具体的な声のかけ方等を共有する事ができた。個人情報はシュレッターをかけて破棄するよう取り扱いに注意を払っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>事務所内の整理が出来ていない事や、パソコン画面がついたままになっており、個人情報の管理が不十分なところがある。利用者の増加と長期宿泊者が複数人いる為、昼寝場所が不足している。成年後見制度の活用の必要だと思われる方へのアプローチはしているが、家族の具体的な行動は見られていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>体重・入浴・状況表は利用者や外部から見えないところに片付ける。パソコン画面は席を離れる場合、最小化するか画面をけし見えないようにする。事務所内の整理整頓をし、個人情報は使用したら元の位置に戻す。成年後見制度が有効と思われる利用者に対しての情報提供と提案を続ける。</p>	

